

03. 敷地の周辺環境 / Site research

計画敷地はキラキラ橋商店街の中心に位置し、左隣に豆腐屋、向かいに魚屋とたきやが店を構えている。向かって右側の隣地では2021年9月-10月に大規模な解体が行われ、今後の建設予定は不明であるが敷地の大きさから5階程度のマンションではないかと予想されている。

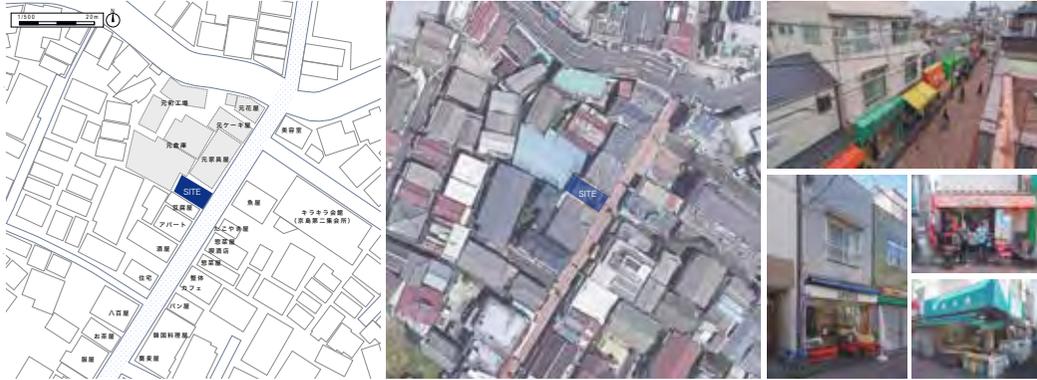


fig 3-1 敷地周辺図
fig 3-2 敷地周辺航空写真
上: fig 3-3 キラキラ橋商店街/下左: fig 3-4 お茶屋の隣地の豆腐店
下右左: fig 3-4 お茶屋の向かいのたきや店
下右下: fig 3-5 お茶屋の向かいの鮮魚店

04. 現状 / Present condition

改修を行うのは、2年ほど前までお茶販売店を営んでいた鉄骨3階建ての通称「元お茶屋」である。各種図面がないため、2021年9月に実測調査を行い現状図面を作成した。1階の手前の土間部分は店舗として、1階奥と2階以上は住居として利用されており、構造は鉄骨造であるが長屋の作りとよく似ていることがわかる。屋上にはプレハブの倉庫が置かれ、鉄製のパーゴラが残っていた。



fig 4-1 設計対象建物外観
fig 4-2 設計対象建物内観

所在地:
東京都墨田区京島3丁目
構造: 重量鉄骨造
階数: 地上3階建
敷地面積: 不明
建築面積: 40.4㎡
延べ床面積: 96㎡
SITE:
Kyojima, Sumida-ku, Tokyo
STRUCTURE: Heavy steel structure
NUMBER OF FLOORS: 3 stories
SITE AREA: not clear
BUILDING AREA: 40.4㎡
TOTAL FLOOR AREA: 96㎡

05. プログラム / Program

滞在制作の拠点 / The Base for stay production

H社では、H社が管理運営を担う17の物件それぞれに「住まい(滞在の拠点)」「アトリエ(制作の拠点)」「ギャラリー(発表の拠点)」を主とした異なる機能を持たせ、これらの複数の拠点を包括的に利用できる滞在制作者向けサブスクリプションサービスの事業を2022年春の開始を目指し構想している。「元お茶屋」もこのプログラムに含まれる予定であり、1階は入居者を募集した店舗へ、2階以上は「住まい(滞在の拠点)」となるシェアハウスにするためのリノベーションを行うことが求められた。



fig 6-1 プログラム概要図
fig 6-2 設計要件

07. サンプリングリサーチ / Sampling research for design



PIC
京島撮影
(2021.6-11)
No. XX TITLE
PIC
©KyojimaAgo
図説凡例 / Usage Guide

「京島屋上小屋図鑑」 /
The Kyojima's "ROOFTOP SHEAD" samples

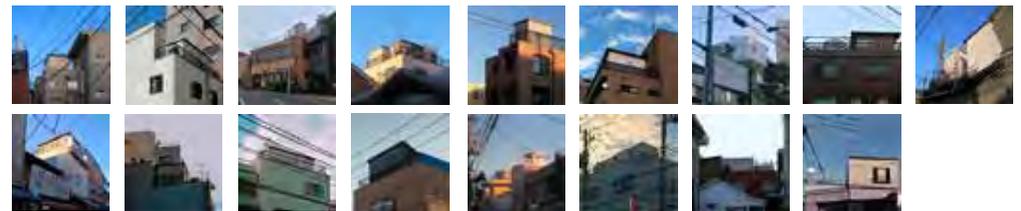
屋上に新設する風呂小屋は商店街から視認できるため、風呂小屋をこの改修のシンボルとして地域住人や来訪者の目にとまるアイコン的な存在にすることを考えた。京島の街を見渡すと屋上にはバリエーションに富んだ「小屋」が存在していることに気がつき、路上から観測できる範囲内でサンプルを収集し、特に個性的なものの特徴を記述した「京島屋上小屋図鑑」を作成した。これを見ると、屋根があるもの、ないもの、セルフリフト風の個性的なデザインのもの、既製品のスチール倉庫を置いただけのものなど多様なデザインが存在することや、こうした屋上空間を豊かに使う工夫が街並みに多様性を付与していることがわかる。

屋上庭(菜)園
ROOFTOP GARDEN
フレームにネットをかけるだけの、最も簡単な「屋上小屋」である。植物だけでなく、鳥避けのネットも風景に豊かな「緑」をもたらしているのが興味深い。

洗濯物干し場
LAUNDRY-DRYING PLACE
「屋上小屋」の中では生活に最も必要な空間であり、切妻や寄棟屋根であってもおかまいなしに増設している様子にも遭遇できた。デザインに創意工夫が見られるものもいくつかあり、家主のこだわりを感じられる個性的な風景を演出している。



倉庫
STORAGE
「屋上小屋」の中で最も多く遭遇できる。特に規模の大きな建物の陸屋根によく発生し、既製品のプレハブ倉庫を置いただけのもの、手作り感溢れるものまで様々である。窓があるものも多く、倉庫ではなく居室の可能性も。特に興味深いと思ったもののみカード化した



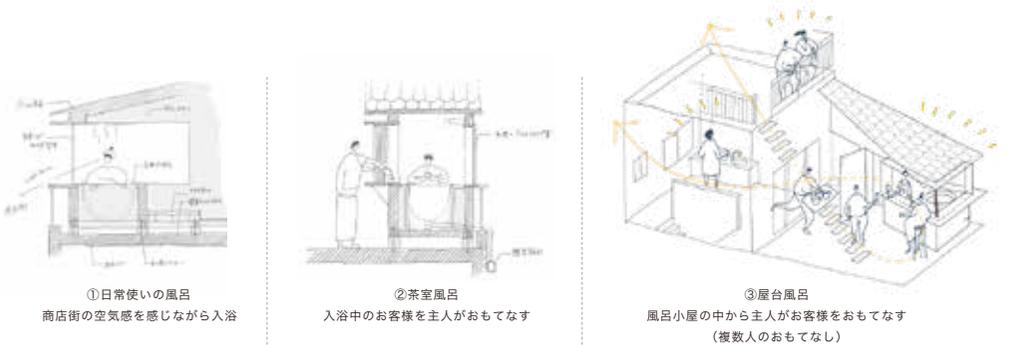
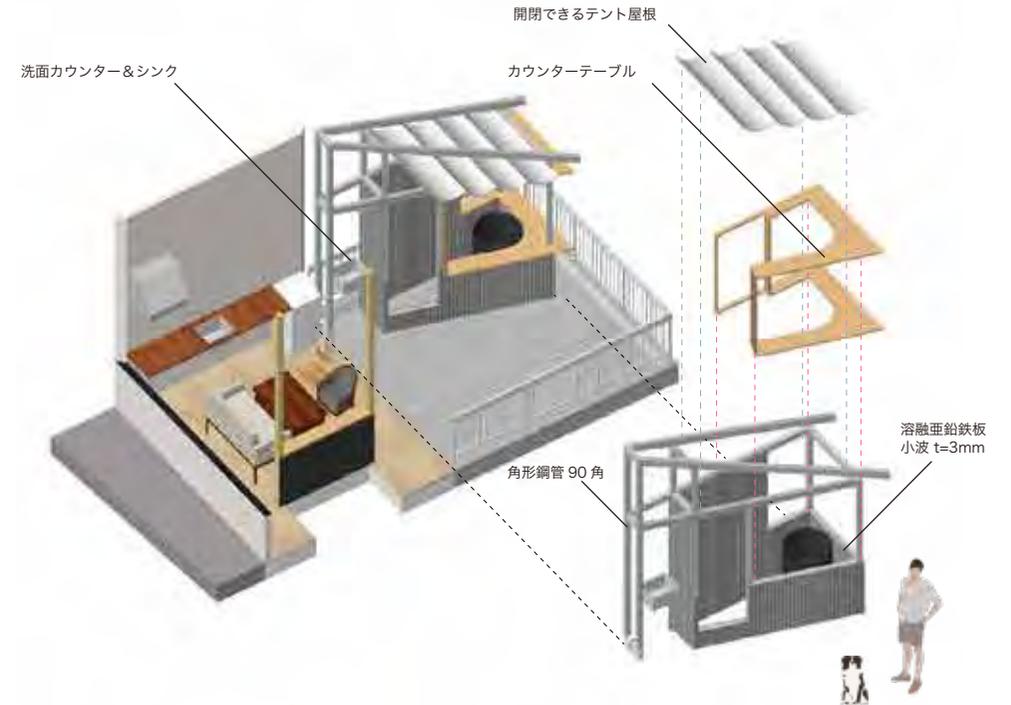


プロジェクトの特性上屋上の風呂小屋はシェアハウスで暮らす人だけでなく、他の物件に入居する滞在製作者や当事業に興味のある人、移住希望者などの来訪者を迎え入れてもための場としても利用でき、その際の賑わいや活動が屋上空間から街にあふれ出すような場をつくることを目指した。風呂小屋にカウンターテーブルを設えることにより、小屋を茶室や屋台に見立てている。リビングキッチンと屋上空間とを立体的に利用することでフレキシブルな利用が可能で、イベント会場にもなる。入浴の際はシャワーカーテンなどを使用する。

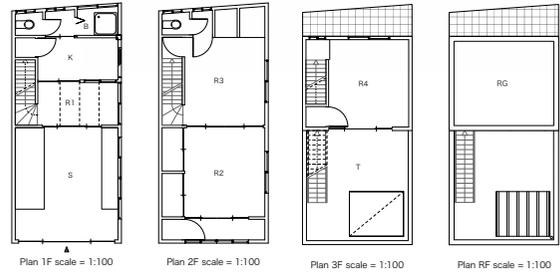
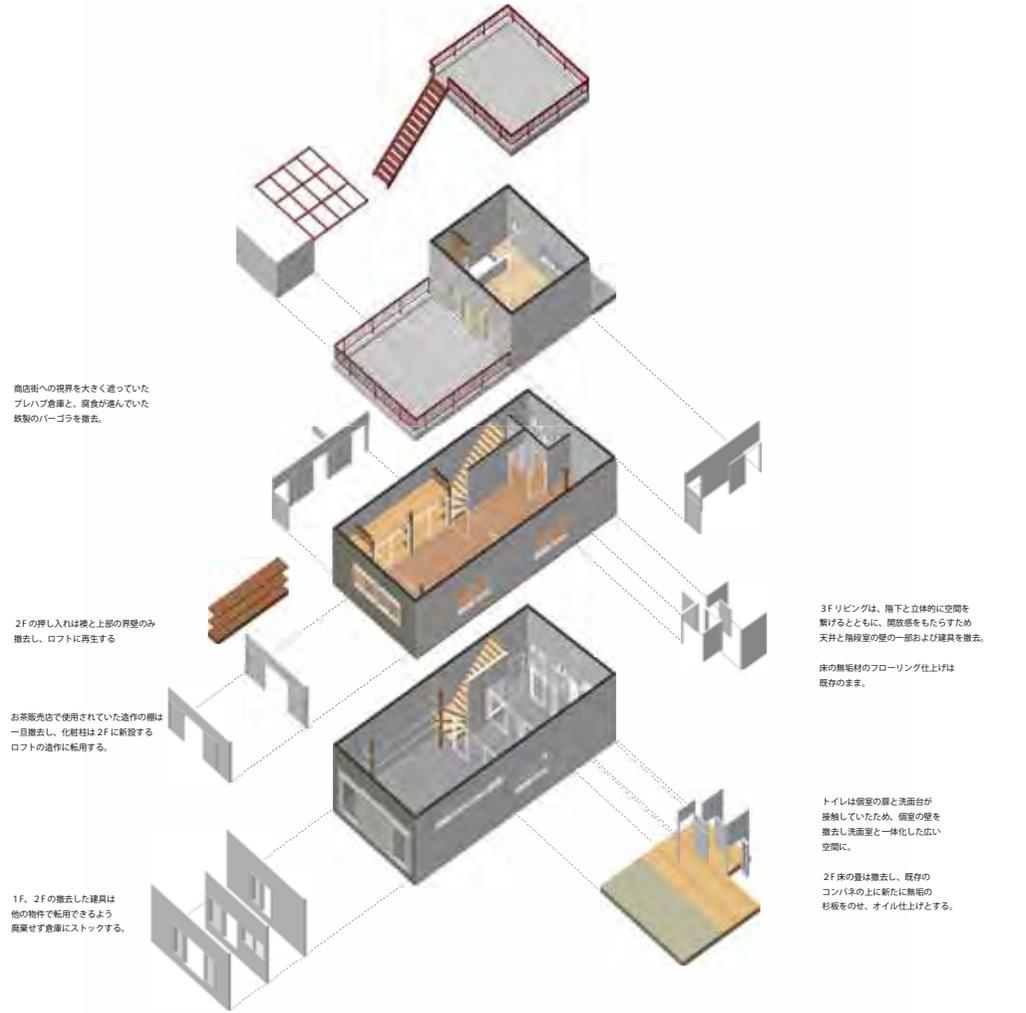


▲1/20模型写真：（左）3F屋上とテラスを一体的に活用している様子。（中央）浴槽の蓋がテーブルの役割を果たし、簡易キッチンのように使うこともできる。（右）手すりに簡易カウンターを設ける。

[07.サンプリングリサーチ]にて発見・収集した「屋上小屋」に設計の手がかりを見出し、屋上に多目的に利用できる「風呂小屋」を提案する。3Fリビングと内外を一体的に活用できる三角形平面を採用し、京島エリア内の多くの増築風呂に古い脱衣所と浴室が直線動線で結ばれ、一体化した構成とした。浴槽周りにはカウンターテーブルを設け、風呂としてだけでなく、茶室や屋台に見立てた利用が可能な多目的な小屋を構想している。



物件が「元お茶屋」であることや、施主の家族が茶煙を営んでいることなどから、茶室のように見立てた風呂小屋を設計する方針を初期に定め、スタディと協議を繰り返して形を決定した。



S: Shop
K: Kitchen
R: Room
L: Living
T: Terrace
B: Bathroom
RG: RoofGarden

fig8-1) 改修前各階平面図 S=1:100

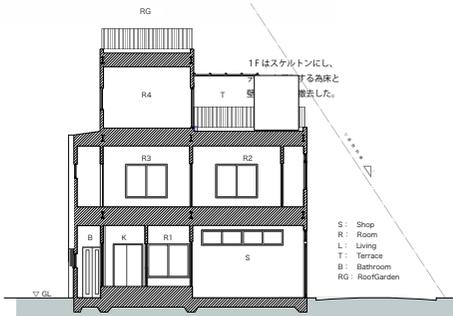
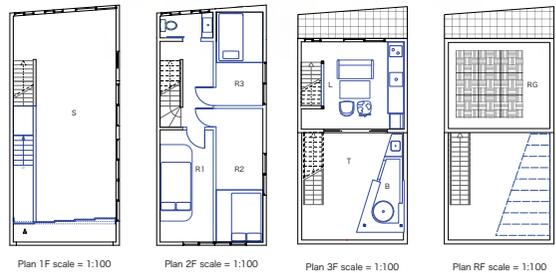
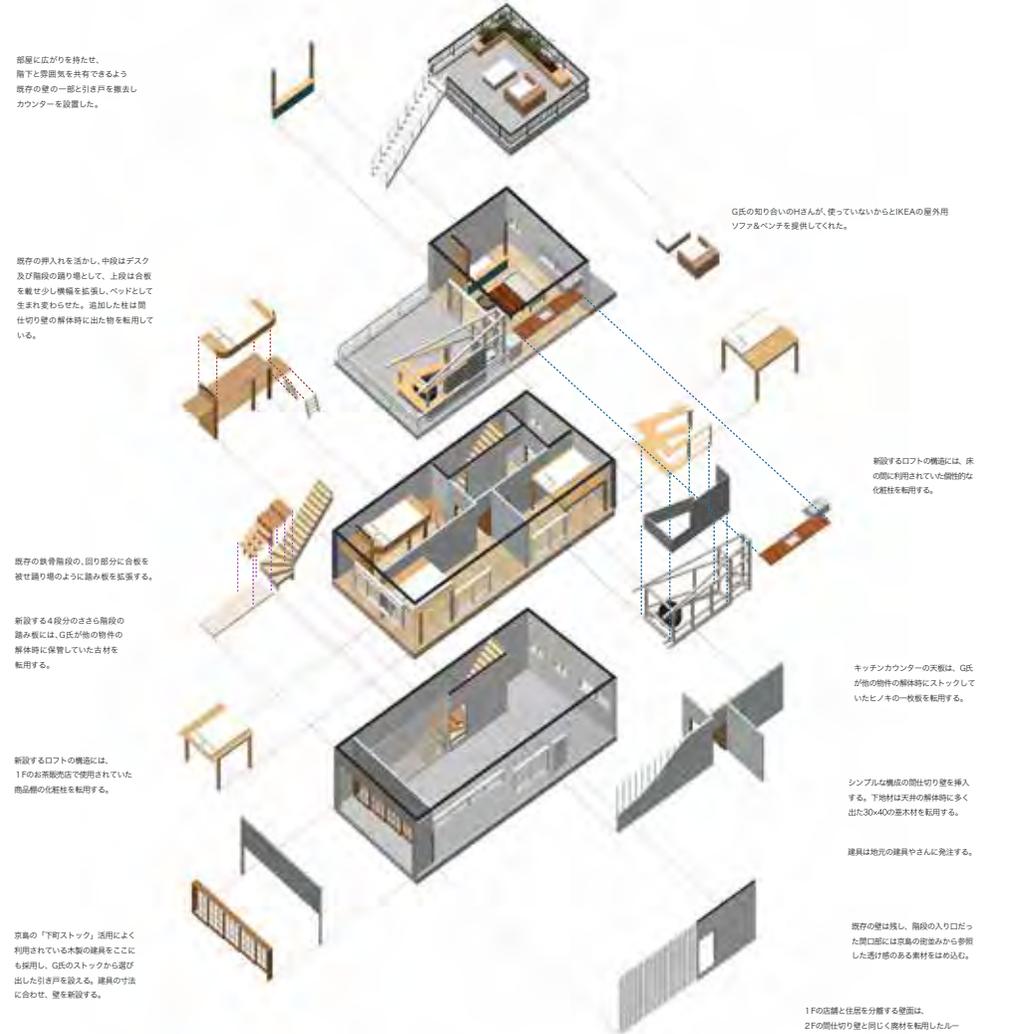


fig8-2) 改修前断面図 S=1:100



S: Shop
R: Room
L: Living
T: Terrace
B: Bathroom
RG: RoofGarden

fig9-1) 改修後各階平面図 S=1:100

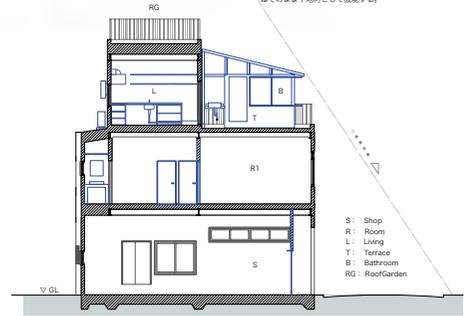


fig9-2) 改修後断面図 S=1:100